

事務事業チェックシート

事務事業No 107 事業名 男女共生推進センター（みらい）施設管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	8	人権尊重・男女共同参画の推進
施策	2	男女共生社会の実現
取組方針	3	男女共生社会実現のための環境づくり

事業種別	継続		
事業期間	～		
事業実施の根拠法令	和歌山市男女共生推進センター条例、規則		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	男女共生推進課	平尾 朱美	436-8704
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	市民福祉費		
	目	男女共生推進費		
	大事業	男女共生推進事業		
中事業	男女共生推進センター（みらい）施設管理事業			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か		全体事業概要			
	あいあいセンター施設（城北保育所除く）を安定的に利用できる状態にすること。		福祉交流館及び男女共生推進センターの共用部分に係る施設管理 男女共生推進センターに係る施設管理 男女共生推進センター貸館業務（利用登録、使用申請、使用許可、使用料の徴収）			
事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	●あいあいセンター共用部分の管理と男女共生推進センターの施設内設備及び備品等の維持管理 ●男女共生推進センターの施設使用の受付と使用料の徴収を行う。	●あいあいセンター共用部分の管理と男女共生推進センターの施設内設備及び備品等の維持管理 ●男女共生推進センターの施設使用の受付と使用料の徴収を行う。	●あいあいセンター共用部分の管理と男女共生推進センターの施設内設備及び備品等の維持管理 ●男女共生推進センターの施設使用の受付と使用料の徴収を行う。	●あいあいセンター共用部分の管理と男女共生推進センターの施設内設備及び備品等の維持管理 ●男女共生推進センターの施設使用の受付と使用料の徴収を行う。	●あいあいセンター共用部分の管理と男女共生推進センターの施設内設備及び備品等の維持管理 ●男女共生推進センターの施設使用の受付と使用料の徴収を行う。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	23,139	21,103	22,133	20,488	21,894	20,536	21,520		21,520	
伸び率（%）	-	-	▲4.3%	▲2.9%	▲1.1%	0.2%	▲1.7%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	11,241	11,305	11,305	3,237	3,237	3,294	3,294	3,294	3,294
	正規職員以外	3,527	3,418	3,418	3,050	4,375	4,775	4,775	4,775	4,775
	小計	14,768	14,723	14,723	6,287	7,612	8,069	8,069	8,069	8,069
国庫支出金										
県支出金										
市債										
その他	11,956	12,148	12,639	11,442	12,605	10,728	12,247		12,247	
一般財源（税等）	11,183	8,955	9,494	9,046	9,289	9,808	9,273		9,273	
所要人数（人）	正規職員	1.48	1.49	1.49	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41	0.41
	正規職員以外	1.90	1.80	1.80	1.80	1.99	2.1	2.1	2.1	2.1
主な予算内訳	清掃委託、空調機保守、エレベーター保守点検、電話保守等の管理委託料9,356千円及び修繕費1,313千円、光熱水費9,871千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
		目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値	達成度(%)
活動指標	修繕件数	10	9	9			
		1,000	861	86.1%	1,000	790	79.0%
		1,000	644	64.2%	1,000	644	64.2%
成果指標	年間施設利用件数	25,000	26,751	107.0%	25,000	23,513	94.1%
		25,000	17,901	71.6%	25,000	17,901	71.6%
		308	308	100.0%	308	308	100.0%
成果指標	年間来館者数	308	308	100.0%	308	308	100.0%
		308	308	100.0%	308	308	100.0%
		308	308	100.0%	308	308	100.0%
成果指標	会館日数	308	308	100.0%	308	308	100.0%
		308	308	100.0%	308	308	100.0%
		308	308	100.0%	308	308	100.0%

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	事業成果が、おおむね達成されているが、より効率的運営をしたい。
見直し・改善内容	指定管理者制度の導入等を含めて検討していきたい。